

『回転 Cube(RotatingCube)』の使い方

資料作成 : 2022-02-16 三宅 節雄

今回はサイコロの様な 6 面体に各写真を張り付けて複雑な回転をさせるスライドショーで、<https://webparts.cman.jp/img/cube/>で同じイラストが使われているのですが、今回使用した動きがある HTML ソースは見当たりません。私の HP で使ったものを紹介します。

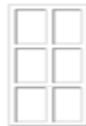
今回も前回のフェイドイン・アウト型スライドショー(テロップ入り)と同様に表に回転 Cube を設定しますが、[スライドショーのコメント](#)、[BGM 挿入](#)や[戻るボタンの入れ方](#)等は、[過去の勉強会の資料](#)を参照し皆さんで実施して下さい。

1. 事前準備 :

300×300px の写真を 6 枚準備し、予め写真にコメントを記載し、名前は 01.jpg~06.jpg とします。皆さんの My-HP の中に『KaitenCube』の様な(名前は何でも OK)新しいフォルダーを作り、その中に『img』というフォルダーを作り、写真はそのの中に入れておきます。

2. ホームページビルダーを起動

『ファイル』⇒『標準モードで新規作成』をクリックした後に、[3 行×2 列の表を作成し、中欧揃え](#)します。



表の幅を 600px 程度に広げて、3 行目は左右 2 つのセルを結合しておき、この 3 行目の中に、その場所が判るように『abc』とでも入力しておき、中欧揃えの後に、HTML ソースに切り替えて置きます。

abc	

3. 下記四角内から本サンプル表示用 HTML のソースをコピーする

```
<div class="css-cube" align="center">
<div class="css-face css-forward"></div>
<div class="css-face css-right"></div>
<div class="css-face css-reverse"></div>
<div class="css-face css-left"></div>
<div class="css-face css-top"></div>
<div class="css-face css-bottom"></div>
</div>
```

上記 HTML に記載されているように、写真は前、右、後、左、上面、下面の順番で入力します。

4. HP ビルダーに切り替え

『abc』の前後で改行して、コピーした行を『abc』の場所に貼り付けます

5. Link の挿入

<title></title>の上で改行し

<link href="cube.css" rel="stylesheet">

と入力します

6. プログラム(アプリ)の保存

先に作った、KaitenCube の様に名付けたフォルダーに main.html の様な名前で保存します

7. 下記四角内から本サンプル表示用 CSS のソースを全てコピー

```
.css-cube {                                /* 立体の大きさ傾きの指定 */
  width: 300px;
  height: 300px;
  margin: 10%;
  border: none;
  transform-style: preserve-3d;            /* 3Dで表示 */
  transform: rotateY(0deg) rotateX(0deg) rotateZ(0deg); /* 立体の傾き */
  display: inline-block;
  animation: cubeAnime 25s linear infinite; /* 動きの指定 */
}
@keyframes cubeAnime{                     /* 回転方向の指定、%は時間割合 */
  0% { transform: rotateY( 0deg) rotateX(30deg) rotateZ(30deg);}
  100% { transform: rotateY(-360deg) rotateX(30deg) rotateZ(30deg);}
}
.css-face {                                /* 各面の指定 */
  position: absolute;
  width: 300px;
  height: 300px;
  border: 1px solid black;
  line-height: 300px;
  font-size: 150px;
  color: black;
  text-align: center;
  opacity: 0.95;                          /* 透明度を指定 */
  backface-visibility: visible;            /* 裏面を表示 */
}
.css-forward {                             /* 前面の指定 */
  background: silver;
  transform: translateZ(150px);
}
.css-reverse {                             /* 後面の指定 */
  background: lime;
  transform: rotateY(180deg) translateZ(150px);
}
.css-right {                               /* 右面の指定 */
  background: red;
  transform: rotateY(90deg) translateZ(150px);
}
.css-left {                               /* 左面の指定 */
  background: aqua;
  transform: rotateY(-90deg) translateZ(150px);
}
.css-top {                                 /* 上面の指定 */
  background: yellow;
  transform: rotateX(90deg) translateZ(150px);
}
.css-bottom {                             /* 下面の指定 */
  background: fuchsia;
  transform: rotateX(-90deg) translateZ(150px);
}
```

8. メモ帳を開く

コピーした 50 行全てを貼り付け

cube.css という名前で html と同じフォルダーに保存（5. で link した名前と同じであれば何でも OK）

9. 動作確認

main.html をダブルクリックで起動し、動作を確認します

Cube の表示が上過ぎる場合には表示枠内で 2 行ほど改行します。正常に動作すれば次へ進みます



10. BGM や戻るボタンの設定

今までの勉強結果を参照し、コメント、BGM の設定や戻る(Home)ボタンを 1 行目、2 行目に入力してリンクの設定を行います

menu-u.html にも登録し、リンクの設定を行います

11. 上書き保存とアップロード

動作確認の後、問題が無ければ、サーバーにアップロードします